

■ 熊本県新広域道路交通計画（概要版）

熊本県新広域道路交通計画について

- 1) 計画の目的
新たな国土構造の形成やグローバル化、国土強靱化などの新たな社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化やICT・自動運転等の技術の進展を見据え、今後の広域道路の基本計画を策定するもの。
- 2) 計画の期間 概ね20年～30年間 ※社会情勢の変化や制度の変更が生じた場合は、必要に応じて見直しを行う
- 3) 策定主体 熊本県・熊本市
- 4) 計画の構成 「新広域道路交通ビジョン」と「新広域道路交通計画」の2部構成

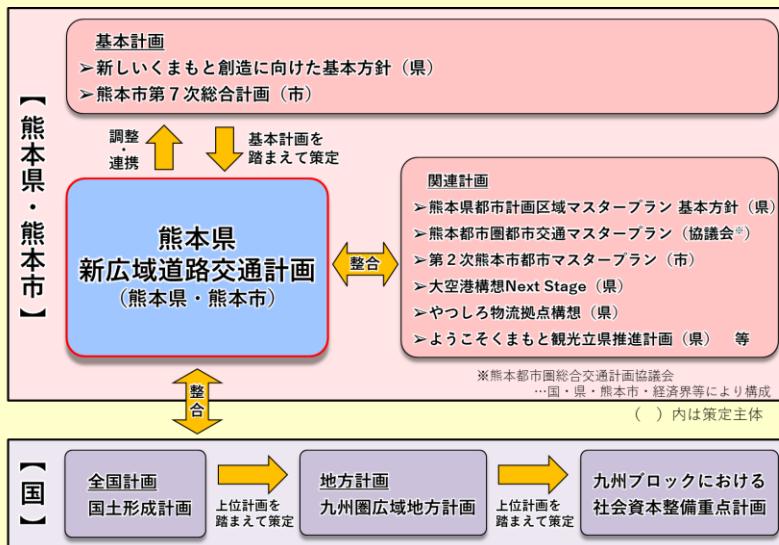
第1部 新広域道路交通ビジョン（基本方針）

第1章 熊本県の地域特性と将来像

■ 熊本県・熊本市の基本計画をベースに社会・経済の現状や見通しを踏まえ、目指すべき姿（将来像）について整理

1) ビジョンの位置づけ

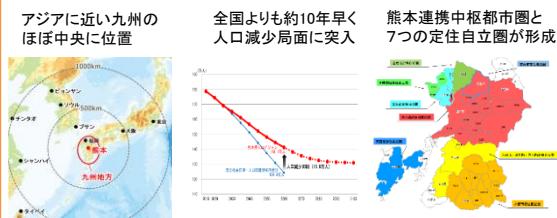
○国や県、熊本市の基本計画をベースに、社会経済の現状や見通しを踏まえて策定



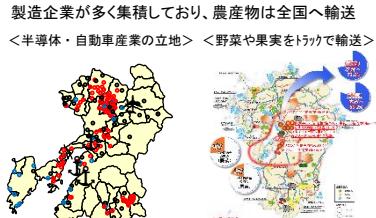
3) 熊本県の地域特性

- 九州の中央に位置し、県下に生活圏域が形成。製造企業の集積や農業が盛ん、豊富な観光地があり今後も成長が期待される。
- 桜町バスターミナルや八代港をはじめ交通拠点が進展。近年大規模な災害に見舞われており、災害に負けない社会基盤が求められる。

【地理的特性・人口動向・生活圏域】



【産業の動向】



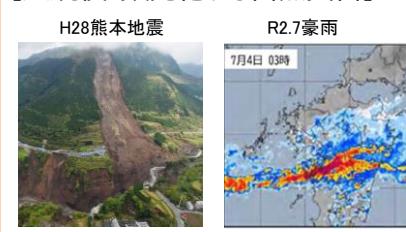
【観光の動向】



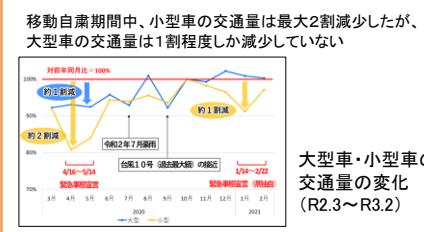
【物流・交通拠点の進展】



【大規模・頻発化する自然災害】



【コロナ下での交通量の変化】



4) 目指すべき将来像

【熊本県の将来像】

1. 世界とつながり活力があふれる熊本
世界との交流環境、九州各県との連携・交流環境の充実
2. 地域の特性が活かされ暮らしやすい熊本
地域産業の発展、観光産業の成長、拠点や地域コミュニティが充実
3. 災害に強く県民が安心して暮らせる熊本
災害に負けない社会基盤、防災体制の充実

【熊本市の将来像】

1. 九州中央の広域交流拠点都市
地域連携の中心、九州の発展をけん引、防災体制が充実した都市
2. 暮らしやすく賑わいが創出された都市
交通拠点と中心市街地等の移動が充実、地域経済が活性化、利便性が高く暮らしやすい多角連携型の都市
3. 多様な交通手段が連携した都市
交通混雑が緩和し移動しやすく、都市交通がベストミックスした都市

第2章 広域的な交通の課題と技術革新を踏まえた新たな取組

■ 地域における広域的な交通の課題や取組について、平常時・災害時及び物流・人流の観点から整理

【平常時における課題】

- 九州各都市とのミッシングリンクの解消**
・九州の横軸道路など九州各県を結ぶ道路ネットワークが整備途上である
・ミッシングリンクが存在する区間は、サービス速度が低い
・地理的特性を活かし、地域産業の発展に資する、九州各都市をつなぐ道路ネットワーク整備が求められている
- 県内における道路整備率の向上**
・県内の道路整備率が全国及び九州の平均を下回っている
・人口減少社会に適應する、拠点都市を結ぶ道路ネットワークが整備途上
- 熊本都市圏における交通渋滞の解消**
・県内の渋滞箇所約8割が熊本都市圏に集中し、平均旅行速度が全国の政令市でワースト1位
- 物流・交通拠点へのアクセス性の向上**
・熊本市中心部から熊本空港までの移動時間が長く、時間信頼性が低い
・製造拠点から熊本港への移動時間が長く、時間が不確実である
・熊本市中心部から高速道路ICへの所要時間が長く、時間信頼性が低い
・増加する物流への対応が求められている
- 人流・観光ネットワークの充実**
・九州各県及び県内各地の観光地を周遊するルート形成が求められている
・増加するインバウンドや国内観光客への対応が求められている
・総合的な交通ネットワークの形成や異なる交通モードとの連携が必要

【災害時における課題】

- 輸送ルート・代替ルートの確保**
・大規模災害への備えとして、避難・救援車両や物流車両の円滑な活動に資する、災害に強い道路やリダンダンシーの確保が求められている
・大規模災害においても交通機能を確保するため、高規格幹線道路の4車線化とダブルネットワークの形成が求められている
- 防災拠点の機能強化**
・大規模災害への備えとして、道の駅等における防災機能の強化が求められている

【技術革新を踏まえた新たな取組】

- 地方部における移動を支援する取組**
・道の駅「芦北でこぼん」において、自動運転サービス実証実験が行われた
・荒尾市においてA I タクシーが導入されている
- 地域の交通課題解消に向けた取組**
・渋滞対策においてビッグデータ等が活用されている
- 公共交通の利便性向上のための取組**
・バスロケーションシステム「バスきたくまさん」が運用されている

第3章 広域的な道路交通の基本方針

■ 前章で述べた広域的な交通の課題や技術革新を踏まえた新たな取組から、「広域道路ネットワーク」「交通・防災拠点」「ICT交通マネジメント」の3つの観点により、広域的な道路交通の基本方針を定める。

《広域道路ネットワーク》

- 九州各県を結ぶ循環型高速交通ネットワークの形成
- 地域や拠点間を連絡する道路ネットワークの形成
- 熊本都市圏における円滑な交通ネットワークの形成
- 災害に強い道路ネットワークの形成

《交通・防災拠点》

- 主要な交通拠点における道路と各交通機関の連携強化
- 主要な防災拠点における機能・連携強化

《ICT交通マネジメント》

- 自動運転社会を見据えた道路施策の検討
- ICTを活用した道路情報の収集・活用等



■ 熊本県新広域道路交通計画（概要版）

“すべての道は、くまもとに通じる”

第2部 新広域道路交通計画（基本計画）

第1章 新広域道路交通計画について

基本方針

ビジョンの各基本方針に基づき、各計画を策定

計画

広域道路ネットワークの基本方針（ビジョンより）

■九州各県を結ぶ循環型高速交通ネットワークの形成

- ・循環型高速交通ネットワークの構築
- ・九州各県主要都市まで150分で結ぶ高速道路ネットワークの構築
- ・広域観光周遊ネットワークの構築

150分構想

■地域や拠点間を連絡する道路ネットワークの形成

- ・拠点都市と周辺各地域が相互に連携可能な道路ネットワークの構築
- ・県内主要都市まで90分で結ぶ幹線道路ネットワークの構築
- ・周遊型観光ネットワークの構築
- ・物流拠点と港湾・空港・高速IC等の交通拠点間のアクセス機能の強化

90分構想

■熊本都市圏における円滑な交通ネットワークの形成

- ・熊本都市圏における循環型ネットワークの構築（高速ICまで約10分）
- ・定時性・速達性を兼ね備えた道路ネットワークの構築（空港まで約20分）
- ・多様な交通モードの機能を強化する道路ネットワークの構築

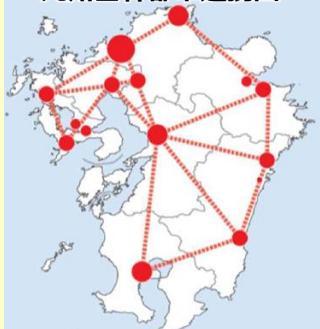
10分・20分構想

■災害に強い道路ネットワークの形成

- ・県内外への支援・受援に資する道路ネットワークの強化と多重・代替性確保
- ・緊急救援活動や物資輸送等に資する道路の円滑な通行の確保
- ・防災拠点と交通拠点の連携強化に資する道路ネットワークの構築

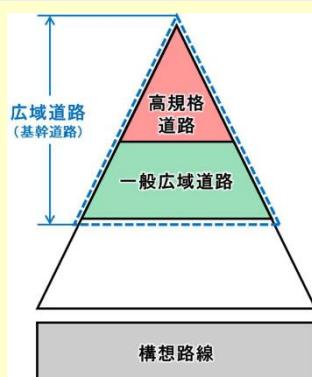
ダブルネットワーク構想

九州基幹都市連携圏



▲新たに必要道路ネットワーク機能イメージ
[第3回熊本都市道路ネットワーク検討会(2019年12月)における概念図]

第2章 広域道路ネットワーク計画



※赤字は新規路線

【高規格道路】

- ・高速自動車国道と一体的に機能する広域的な道路ネットワーク
- ・サービス速度が概ね60km/h以上

- 九州自動車道
- 九州中央自動車道
- 南九州自動車道
- 熊本天草幹線道路
- 中九州横断道路
- 熊本環状道路（西環状道路）
- 熊本環状道路（東環状道路）
- 有明海沿岸道路
- 熊本都市圏北連絡道路
- 熊本都市圏南連絡道路
- 熊本空港連絡道路

【一般広域道路】

- ・広域道路のうち、高規格道路以外
- ・サービス速度が概ね40km/h以上

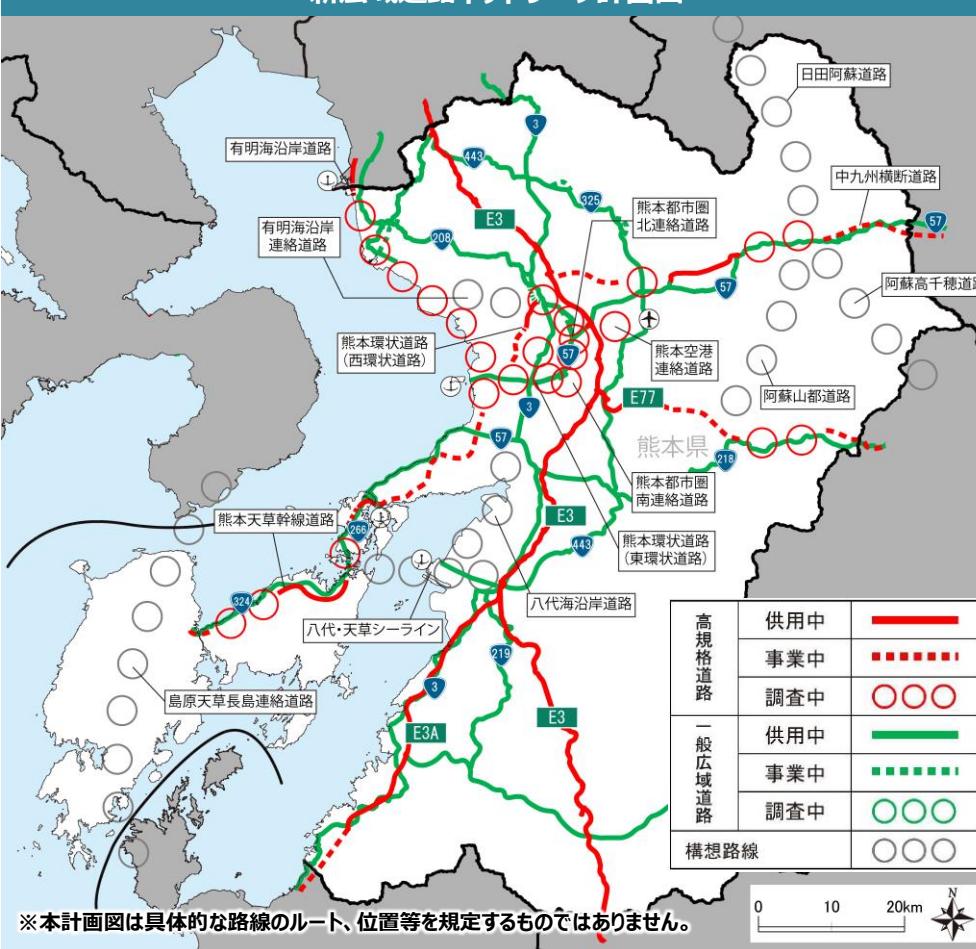
- 国道3号
- 国道57号
- 国道208号
- 大外環状道路
- 玉名縦貫連絡道路
- 八代人吉道路
- 人吉芦北道路
- 人吉西米良宮崎道路
- 熊本港連絡道路
- 八代港連絡道路
- 熊本天草道路
- 熊本延岡道路

【構想路線】

- ・広域道路としての役割が期待されるため、今後、地域の実情に応じて必要な検討を行う路線

- 島原天草長島連絡道路
- 八代・天草シーライン
- 八代海沿岸道路
- 日田阿蘇道路
- 阿蘇山都道路
- 阿蘇高千穂道路
- 有明海沿岸連絡道路

新広域道路ネットワーク計画図



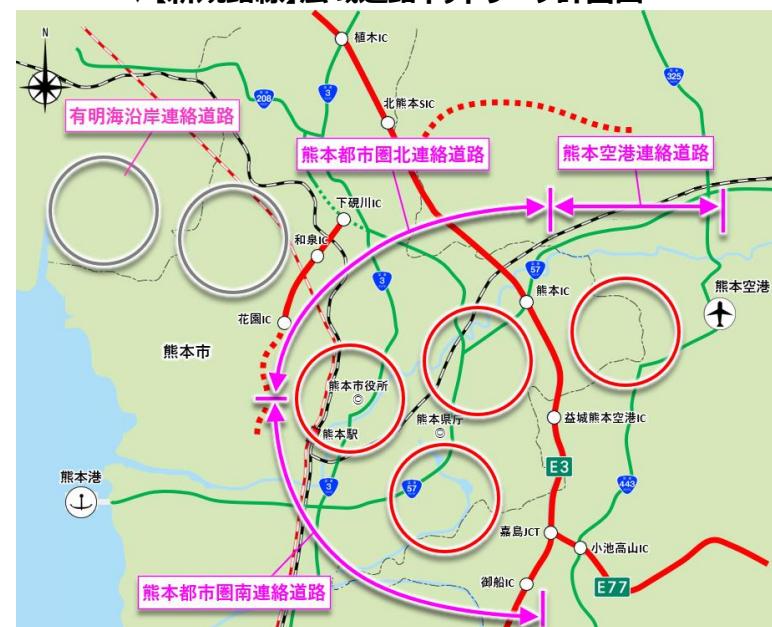
高規格道路	供用中	——
	事業中	-----
	調査中	○○○
一般広域道路	供用中	——
	事業中	-----
	調査中	○○○
構想路線		○○○

※本計画図は具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。

▼【既存計画路線】広域道路ネットワーク計画図



▼【新規路線】広域道路ネットワーク計画図※



※既存計画路線については、供用中・事業中区間のみ表示

第3章 交通・防災拠点計画

交通選択肢の多様化に向けた取組等



広域的な防災機能を担う道の駅の整備等



第4章 ICT交通マネジメント計画

自動運行補助施設の整備等



ビッグデータの活用等

